第 1 回：生成 AI（ChatGPT）入門

生成 AI、特に ChatGPT は、ビジネスの現場で革新的な変化をもたらしています。本講座では、生成 AI の基本的な概念と特徴を理解し、業務での効果的な活用方法を学びます。特に、実務で即座に活用できるテンプレートの使用方法と、より良い結果を得るためのプロンプト作成のコツを習得していきます。

学習目的

本講座を通じて、以下の 4 つの目標達成を目指します：

- 生成 AI（ChatGPT）の基本概念と特徴を理解する 生成 AI の仕組みや特徴を理解することで、どのような場面で活用できるかの判断力を養います。
- 業務シーンごとの効果的なテンプレートの活用方法を習得する 実際の業務で即座に活用できる実践的なテンプレートの使い方を学び、業務効率の向上を図ります。
- 基本プロンプトを用いた応用的な使い方を身につける 様々な状況に対応できるよう、プロンプトの基本的な作成方法と応用力を身につけます。
- 実践的な演習を通じて、業務での具体的な活用方法を理解する 実際の業務シーンを想定した演習を通じて、実践的なスキルを習得します。

学習概要

本講座は以下の 3 つの章で構成されています。各章では、理論的な理解と実践的なスキルの両方を習得していきます。

第 1 章：生成 AI の基礎知識

生成 AI の基本的な仕組みと特徴について学び、ビジネスでの活用可能性を理解します。特に、AI の特性を理解することで、より効果的な活用方法を見出すことができます。

第 2 章：業務テンプレートの活用

実務で即座に活用できる各種テンプレートの使い方と、カスタマイズ方法を学びます。実際の業務シーンに合わせて、テンプレートを効果的に活用する方法を習得します。

第 3 章：プロンプトエンジニアリング入門

より良い結果を得るためのプロンプト作成の基本と、効果的な活用方法を習得します。実践的な例を通じて、プロンプトの作成スキルを向上させます。

第 1 章：生成 AI の基礎知識

1-1. 生成 AI とは

生成 AI（Generative AI）は、人工知能の一種で、与えられた入力（プロンプト）に基づいて、新しいコンテンツを生成する技術です。特に ChatGPT は、自然言語による対話を通じて、様々なタスクを支援することができます。

従来の検索エンジンとは異なり、生成 AI は単に情報を検索して表示するだけでなく、与えられた情報を理解し、新しい文章や回答を生成することができます。これにより、ビジネスシーンにおいて、文書作成や情報整理、アイデア発想など、多岐にわたる業務をサポートすることが可能となります。

1-2. ChatGPT の特徴

ChatGPT は、他の AI システムと比較して、特に優れた自然言語処理能力を持っています。以下に主な特徴を示します：

- **自然な対話性** 人間のような自然な会話が可能で、複数のやり取りを通じて意図を理解し、適切な応答を返すことができます。 これにより、より深い議論や段階的な問題解決が可能となります。
- **文脈理解** 会話の流れを理解し、前後の文脈を考慮した適切な応答が可能です。 これにより、複雑な要求や段階的な指示にも対応することができます。

- **多様なタスク対応** 文章作成、分析、提案など、様々な業務に対応できる柔軟性を持っています。 一つのツールで多様な業務をサポートできることが大きな特徴です。

これらの特徴により、ChatGPT は単なる会話ツールではなく、実践的なビジネスツールとして活用することができます。

1-3. ビジネスでの活用メリット

ChatGPT をビジネスで活用することで、以下のような具体的なメリットが得られます。これらのメリットは、組織の規模や業種を問わず、広く適用可能です。

業務効率の向上について、以下のような具体的な効果が期待できます：

- **ルーチンワークの自動化** 定型的な文書作成や情報整理を効率化し、より創造的な業務に時間を割くことができます。 例えば、議事録の作成や日報の要約などが短時間で完了します。
- **品質の向上** 一貫性のある文書作成や、多角的な視点からの検討が可能になります。 特に、複数の部署や担当者が関わる文書作成において、品質の標準化を図ることができます。
- **コスト削減** 作業時間の短縮や、リソースの効率的活用により、直接的なコスト削減が可能です。 また、トライアル＆エラーの効率化により、新規プロジェクトの立ち上げ時間も短縮できます。

第 2 章：業務テンプレートの活用

業務テンプレートを活用することで、ChatGPT をより効率的に使用することができます。ここでは、実務で即座に活用できる主要なテンプレートとその使用方法について説明します。

2-1. 接客応対文テンプレート

お客様とのコミュニケーションを円滑にするための応対文を作成できます。このテンプレートは、様々な接客シーンに対応できるよう設計されています。

基本的な使用方法として、以下のようなプロンプトを活用します：

以下の状況における接客応対文を作成してください：
- シーン：[具体的なシーン]
- お客様の状況：[状況説明]
- 求められる対応：[対応内容]
- トーン：[フォーマル/カジュアル]

このテンプレートを使用する際は、具体的な状況設定が重要です。例えば、クレーム対応や商品説明など、シーンに応じて適切な表現を選択できるよう、状況を詳しく記述することをお勧めします。

2-2. マニュアル作成テンプレート

業務マニュアルを効率的に作成するためのテンプレートです。特に新入社員の教育や、業務の標準化に役立ちます。

基本的な使用方法は以下の通りです：

以下の業務マニュアルを作成してください：
- 業務名：[業務名]
- 対象者：[対象となる従業員]
- 必要なスキル：[必要なスキル]
- 手順の詳細度：[詳細/概要]

マニュアル作成時は、対象者のスキルレベルや経験に応じて、説明の詳細度を調整することが重要です。また、具体的な例や注意点を含めることで、より実用的なマニュアルを作成することができます。

第 3 章：プロンプトエンジニアリング入門

プロンプトエンジニアリングとは、ChatGPT からより良い結果を得るために、適切な指示（プロンプト）を設計する技術です。効果的なプロンプトを作成することで、より正確で有用な回答を得ることができます。

3-1. 効果的なプロンプトの基本

プロンプト作成には、以下のような基本原則があります。これらの原則を理解し、実践することで、より質の高い回答を得ることができます。

- **具体的な指示** 目的を明確に伝え、必要な情報を漏れなく提供することが重要です。 特に、期待する出力形式や制約条件を明示することで、より適切な回答を得られます。
- **構造化された情報** 情報を整理して提供することで、AI がより正確に要求を理解できます。 カテゴリー分けや優先順位の明示により、より組織化された回答を得ることができます。

3-2. プロンプトの改善テクニック

より良い結果を得るためには、プロンプトを段階的に改善していく必要があります。以下に主要な改善テクニックを示します：

- **制約条件の追加** 文字数制限や使用する用語の指定など、具体的な制約を設けることで、より目的に適した回答を得ることができます。 特に、専門用語の使用レベルや、説明の詳細度を指定することが重要です。
- **出力フォーマットの指定** 期待する回答の形式を明確に指定することで、より使いやすい結果を得ることができます。 見出しの構造や、箇条書きのレベルなど、具体的な形式を指定することをお勧めします。

重要ポイントの整理

本講座で学んだ内容を、以下の 3 つの観点から整理します。これらの要点を理解し、実践することで、ChatGPT を効果的に活用することができます。

第 1 章のポイント

生成 AI の基本的な理解として、以下の点が重要です：

- **基本的な仕組みと特徴** 生成 AI の動作原理を理解することで、より効果的な活用が可能になります。 特に、AI の得意分野と苦手分野を理解することが重要です。
- **ビジネスでの活用可能性** 具体的な業務シーンでの活用方法を理解し、実践できることが重要です。 特に、既存の業務フローにどのように組み込むかを検討することをお勧めします。

第 2 章のポイント

業務テンプレートの活用について、以下の点を押さえておくことが重要です：

- **テンプレートの基本構造** 各テンプレートの特徴と使用方法を理解し、適切に選択できることが重要です。 状況に応じて、テンプレートをカスタマイズする方法も習得しましょう。

第 3 章のポイント

プロンプトエンジニアリングについて、以下の点を実践できることが重要です：

- **効果的なプロンプト作成** 基本ルールを理解し、目的に応じた適切なプロンプトを作成できることが重要です。 特に、具体的な指示と構造化された情報の提供を心がけましょう。

第 2 回：生成 AI（ChatGPT）実践

第 1 回で学んだ生成 AI の基礎知識を踏まえ、本講座では ChatGPT の実践的な活用方法について学びます。特に、ビジネスシーンで直面する具体的な課題に対して、ChatGPT をどのように活用できるのか、実例を交えながら解説していきます。また、より効果的な活用のためのプロンプト設計の実践的なテクニックについても習得していきます。

学習目的

本講座では、以下の 4 つの目標達成を目指します：

- ChatGPT を用いた実践的な問題解決方法を習得する 実際のビジネスシーンで発生する課題に対して、ChatGPT を活用した具体的な解決方法を学びます。
- 効果的なプロンプト設計の実践力を身につける 目的に応じた適切なプロンプトの設計方法を、具体的な事例を通じて習得します。
- 業務効率化のための具体的な活用方法を理解する 日常的な業務をより効率的に進めるための、実践的な ChatGPT 活用術を学びます。
- ChatGPT の活用における注意点と対策を理解する 活用時の制限事項や注意点を理解し、適切な対処方法を身につけます。

学習概要

本講座は以下の 3 つの章で構成されています。各章では、実践的な活用方法と具体的な事例を中心に学習を進めます。

第 1 章：ビジネスシーンでの実践的活用

実際の業務における具体的な活用事例を通じて、ChatGPT の効果的な使用方法を学びます。特に、日常的な業務課題の解決方法に焦点を当てます。

第 2 章：高度なプロンプト設計の実践

より複雑な要求に対応するための、プロンプト設計の実践的なテクニックを学びます。具体的な業務シーンに基づいた演習を通じて、スキルを向上させます。

第 3 章：活用における注意点と対策

ChatGPT を業務で活用する際の制限事項や注意点について学び、適切な対処方法を理解します。特に、情報セキュリティの観点からの配慮事項を重点的に解説します。

第 1 章：ビジネスシーンでの実践的活用

1-1. 文書作成・編集での活用

ビジネス文書の作成や編集は、ChatGPT の特に強力な活用領域の一つです。以下では、具体的な活用方法とそのポイントについて説明します。

文書作成における主なメリットは、初期ドラフトの迅速な作成と、既存文書の効率的な編集・改善にあります。特に、定型的な文書作成では、一貫性のある文章を短時間で作成できる点が大きな利点となります。

以下に、代表的な活用シーンとそのアプローチ方法を示します：

- **企画書・提案書の作成** 目的や対象者を明確に指定することで、構造化された文書の初期案を作成できます。 特に、複数の選択肢や比較検討が必要な場合に効果的です。
- **レポート・報告書の作成** データや事実を入力として与えることで、論理的な構成の文書を作成できます。 特に、データの分析や考察の部分で、多角的な視点を得ることができます。